

編集後記

昨年に続いて今年も暖冬でした。昨年は、暖冬とは言え、四月に入って3回も30 cm前後の大雪が降り、校内の白樺の太い枝がいくつも折れて驚かされましたが、今年はそのような寒の戻りも無く、このまま春が深まって行く気配です。本号の原稿も、気候に合せたわけでは無いでしょうが、前号や前々号に比べれば出足好調で、発行予定日より一か月程度の遅れで発行出来そうで、編集子も一安心と言ったところです。

本号の巻末に昭和63年業績目録が掲載されています。昭和61年および昭和62年と比べますと、昭和63年の学会発表数は218題で、昭和61年の230題と昭和62年の192題の間ですが、論文発表数は104篇で、昭和61年の149篇および昭和62年の134篇よりかなり下回っています。平成元年はどうなるか、一寸気になる数字です。

先般、学内の講座で使われているワープロの機種について、アンケート調査を行いました。講座所属のワープロ（パソコンを含む）を持っている講座は全体の7割程度でしたが、個人所有のものを加えると、ワープロを持っていない講座は一つもありませんでした。松本歯学の投稿原稿は、最近ほとんどがワープロ原稿なもの、^{ひび}宜なるかなといった感じです。研究本体の方にも、新しい機器がどしどし導入されて研究が進み、編集子が悲鳴を上げるくらいに松本歯学への投稿論文が増えれば良いなと思いますが、無理でしょうか。先生方のなお一層の御努力をお願い致します。

松本歯学の英文抄録が、日本科学技術情報センターのデータベースに登録されるようになったことは、前々号の編集後記で報告しましたが、先日ある先生が Chemical Abstract にも引用されているのを見つけました。松本歯学の論文が外国の研究者の目に触れるようになったことは間違いありません。喜ばしいことです。

(野村 浩道)

松 本 歯 学 第15巻 第1号 (非売品)

1989年4月25日 印刷 1989年4月30日 発行

編集兼発行者 加 藤 倉 三

発 行 所 松本歯科大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780 電話 0263-52-3100

印 刷 所 電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270 電話 0263-25-4329